

畜舎の暑熱対策をしましょう

気温の高い日が続いています。暑さにより家畜の生産性が損なわれることを防ぐため、家畜が健康で快適に過ごせる環境にしましょう！

暑熱対策ポイント

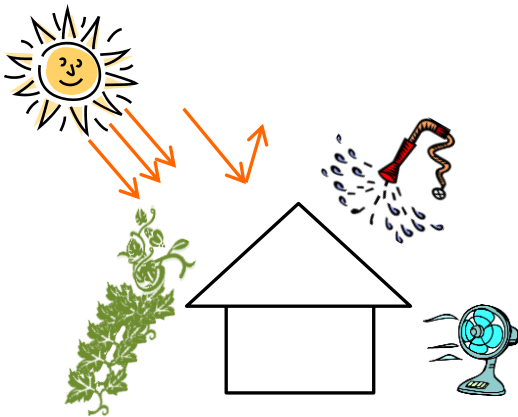


1. 外部からの熱の侵入防止

- ◆屋根、壁への断熱材の利用
- ◆石灰乳・白色系塗料の塗布
- ◆屋根への放水
- ◆緑のカーテン、寒冷紗、よしず等による遮光

2. 飼料給与と給水

- ◆高エネルギーで嗜好性の高い飼料の給与
- ◆新鮮で冷たい水を十分にあげましょう
- ◆ビタミン、ミネラルの補給
- ◆涼しい時間帯の給餌
- ◆重曹の飼料添加

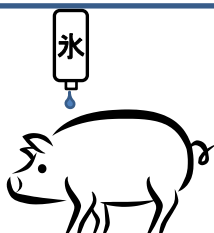


3. 熱放散の促進

- ◆換気扇、扇風機、ダクト送風機による送風
⇒体熱が蓄積される夕刻～夜間の送風が有効
- ◆細霧装置の利用
⇒送風機との併用が効果的
- ◆熱発生量の少ない飼料の給与
⇒粗剛なものほど熱発生量が多い
- ◆飼育密度の低下（夜間放牧の実施など）

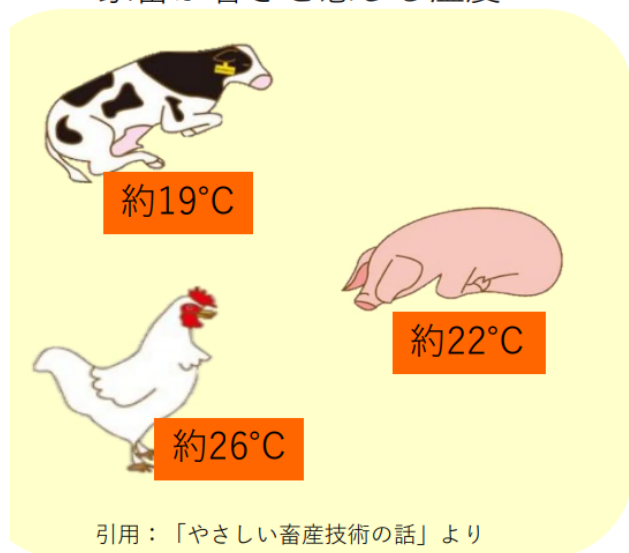
4. 定期的な清掃により空調効率のアップ

- ◆空調フィルターは定期的に交換しましょう
- ◆送風機のクモの巣を払いましょう
- ◆畜舎周囲のネットのホコリを払いましょう



ペットボトルに氷を作り動物の背中に滴下する方法も有効です。

家畜が暑さを感じる温度



畜産への被害

家畜のへい死

乳量の低下

食欲不振

繁殖能力の低下

農林水産省HPより

暑熱対策具体的事例の紹介

畜舎環境、飼養管理における複合的な対策



取組の概要

地域名 : 新潟県
経営形態 : 酪農
飼養頭数 : 搾乳牛50頭

- 十分な飲水の確保→給水管を太くした
- 畜舎温度上昇の抑制
 - 井戸水を利用したスプリンクラー設置
 - トンネル換気の実施(牛舎壁面に換気扇設置)
- 採食量の維持
 - 1日6回に分けて配合飼料を少量ずつ給与(自動給餌機)
 - 盗食防止板の設置により飼料摂取量を適正にコントロール

効果

○夏期の乳量の向上

H20年8月は、前年同月に比較し、
日乳量が0.4kg/頭 増加

○分娩間隔の短縮

19年 14.5ヶ月
→ 20年 13.9ヶ月 0.6ヶ月短縮



↑牛舎壁面の換気扇



↑牛舎屋根に設置したスプリンクラー

農林水産省HPより